

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(アサリ)KD-30-51号

平成30年12月27日発行

貝毒検査を12月17日～27日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

- 【概況】・貝毒検査(12/27)の結果、洲本で採取したアサリから麻痺性貝毒は検出されませんでした。今回の検査で3回連続して国の定めた基準(4マウスユニット/g以下)となりましたので、兵庫県の淡路市、洲本市、南あわじ市におけるアサリ等の二枚貝の採取規制は解除されました(これにより、県下の規制はすべて解除されました)。
- ・貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。

【検査結果】

年月日(採水・採取)	H30. 12.17
地点(St.)	洲本
水温(°C)	15.7
塩分	—
貝類の毒化状況 [マウスユニット/g]	麻痺性貝毒 ND
麻痺性 貝毒 原因 プラン クトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/mL) 0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/mL) 0
下痢性 貝毒 原因 プラン クトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/mL) 0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/mL) 0



<規制の基準>

可食部の毒量が

麻痺性貝毒:4マウスユニット/g

下痢性貝毒:0.16mg オカダ酸当量/kg

}を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ

Alexandrium tamarense 5 個数/mL 以上、

アレキサンドリウム カテネラ

Alexandrium catenella 50 個数/mL 以上

- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ

Dinophysis fortii 50 個数/mL 以上

※密度の単位は 個数/mL 表記とします。(海水 1 ミリリットルあたりのプランクトン個数)

- ・次回は3月にアサリ(大阪湾)の調査を予定しています。
調査結果がまとまり次第「貝毒情報」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 §

- ・貝毒による規制等に関すること: 兵庫県農政環境部農林水産局水産課資源増殖室(担当: 漁場整備班)
Tel: 078-341-7711 (内 4163、4164)
- ・貝毒調査に関すること: 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当: 水産環境部 都倉・宮原)
Tel: 078-941-8602 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>